

町立病院の お医者さん紹介



周防大島町立東和病院

内科 篠原 孝宏

4月1日より周防大島町立東和病院の内科に赴任しました、篠原孝宏と申します。3月までは山口県防府市の山口県立総合医療センターに勤務しておりました。出身は下関市豊浦町で、出身大学は自治医科大学です。

山口県出身なのですが、実は大島に訪れるのは今回が初めてです。訪れての感想ですが、美しい海、美味しい食事と大変魅力的な場所だと感じております。診療に関しては総合内科ということで、あらゆる症状に対応し診療を行えるよう努力してまいりますので気軽に受診していただければ幸いです。また、往診、学校医、看護学校講師等、大島全体の医療に貢献できるように精進してまいりますので何卒よろしくお願いたします。

行政連絡員集会を開催

平成26年度の行政連絡員集会を4月17日から4月25日にかけて町内4箇所で開催しました。集会では、町長から今年度の施政方針の説明、各部長から各部の重要施策の説明が行われました。その後、行政連絡員さんから町の施策に対する質疑や貴重なご提言をいただきました。

行政連絡員は、町の非常勤特別職の職員として町行政と住民との連絡調整や広報などの文書の配布・回覧を行っていたただく方です。今年度、各行政区（自治会等）で選任された自治会長さんなど274名の方が行政連絡員に委嘱されました。（写真は大島地区）



地域おこし協力隊 三浦宏之

「お役に立てれば、幸いです。」 15

定住促進協議会日良居分室

☎ 0820(73)0234

「周防大島のタケノコはおいしい。」という話を聞きます。町内でタケノコを出荷している人の話では、「去年よりも売りが増えて、キロあたりの単価もいい。掘っても掘っても、もっと欲しい！もっと欲しい！と言われる。」そうです。岩国の林業関係者からは「周防大島のタケノコの魅力に気づいていないのは、意外と周防大島の人ですよ。」とも言われました。掘り起こせば財産になるタケノコも放って置けば荒廃竹林拡大の素。環境美化と収益拡大の一举両得！地域おこしのチャンスなのではないでしょうか。

毎月1回行っている海の環境美化活動「島くらす海そうじ」6月7日(土)午後3時より和田の海岸を清掃します。当日は、周防大島への移住希望者向け体験ツアー「定住前に一泊二日の島暮らし」島時々半島ツアー」の参加者をお連れする予定です。海岸清掃を通じて島の暮らしを体験しながら、周防大島の皆さ

んと交流が図れればと思います。周防大島のいいところ、不便なところ、ザックバランにお話しいただけるとうれいです。観光では知り得ない、周防大島に暮らす皆さんの生の声が移住希望者にとって一番役立つ情報になるはずなので、ご協力のほどよろしくお願ひします。今年度は瀬戸内海国立公園指定80周年という話題を見聞きする機会が多く、そこであらためて「国立公園に暮らしている」という事実が気付かされました。未来に引き継ぐ大自然、守っていきましょう！



▲前回開催された島時々半島ツアーの様子（1月12日）